

*前期比：D I・季節調整済

景況

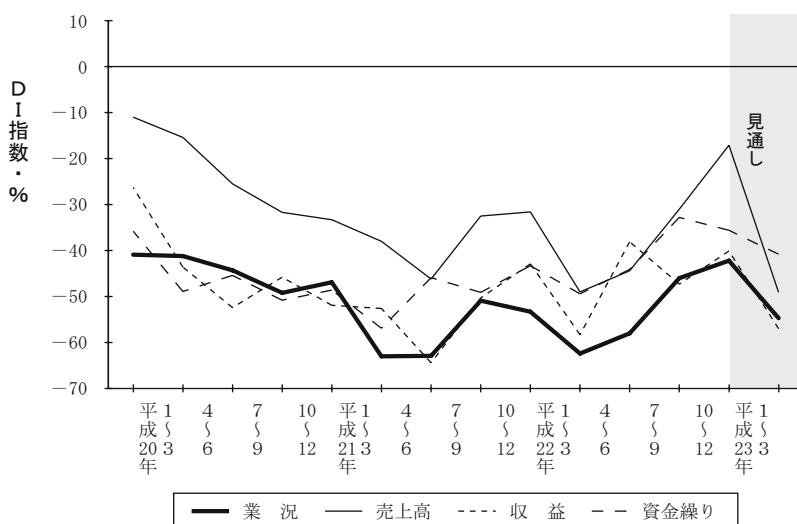
今期の業況判断DI値は-42と前期の予想DI値を14ポイント上回り、実績に比べると4ポイント改善する結果となりました。売上、収益は改善、資金繰りは後退しました。設備投資については、事務機器を中心に16%の先が実施し、前期に比べ横ばいで推移しました。

来期の予想業況判断DI値は-55と今期より13ポイント後退すると予想しており、売上、収益、資金繰りとも後退すると予想しています。設備投資については、今期に比べ3ポイント減少し、13%の実施と予想しています。

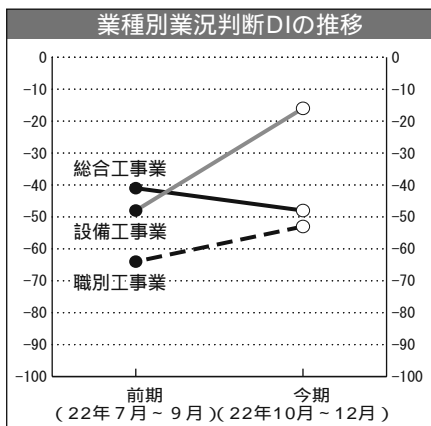
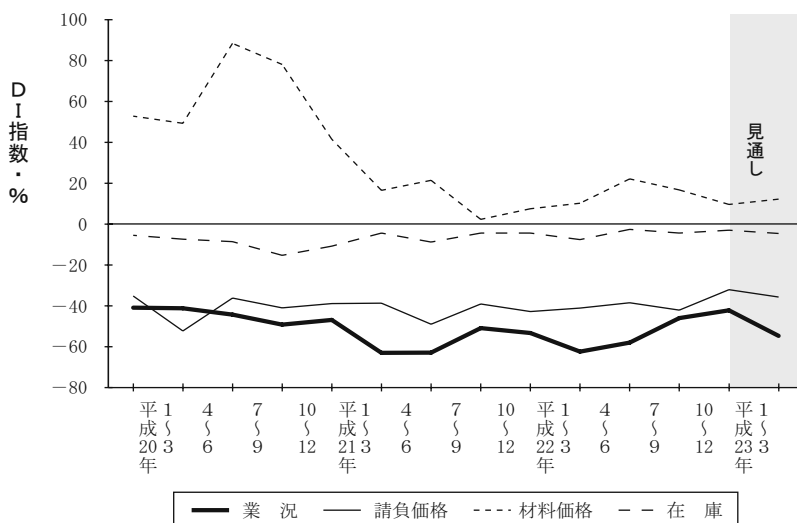
調査員のコメント

- 今期は公共工事の受注順調により、売上増加している。
(建築土木工事業)
- 学校の耐震工事等の受注により、業況は横ばいに推移している。
(電気・管設備工事業)

景況の推移



主な指標の動き



順位	問題点	割合
1位	同業者間の競争の激化	67%
2位	利幅の縮小(3)	57%
3位	売上の停滞・減少	56%

順位	施策	割合
1位	経費を節減する(1)	59%
2位	販路を広げる(2)	57%
3位	情報力を強化する(3)	34%

* ()は前回順位

残業、人手、設備状況

